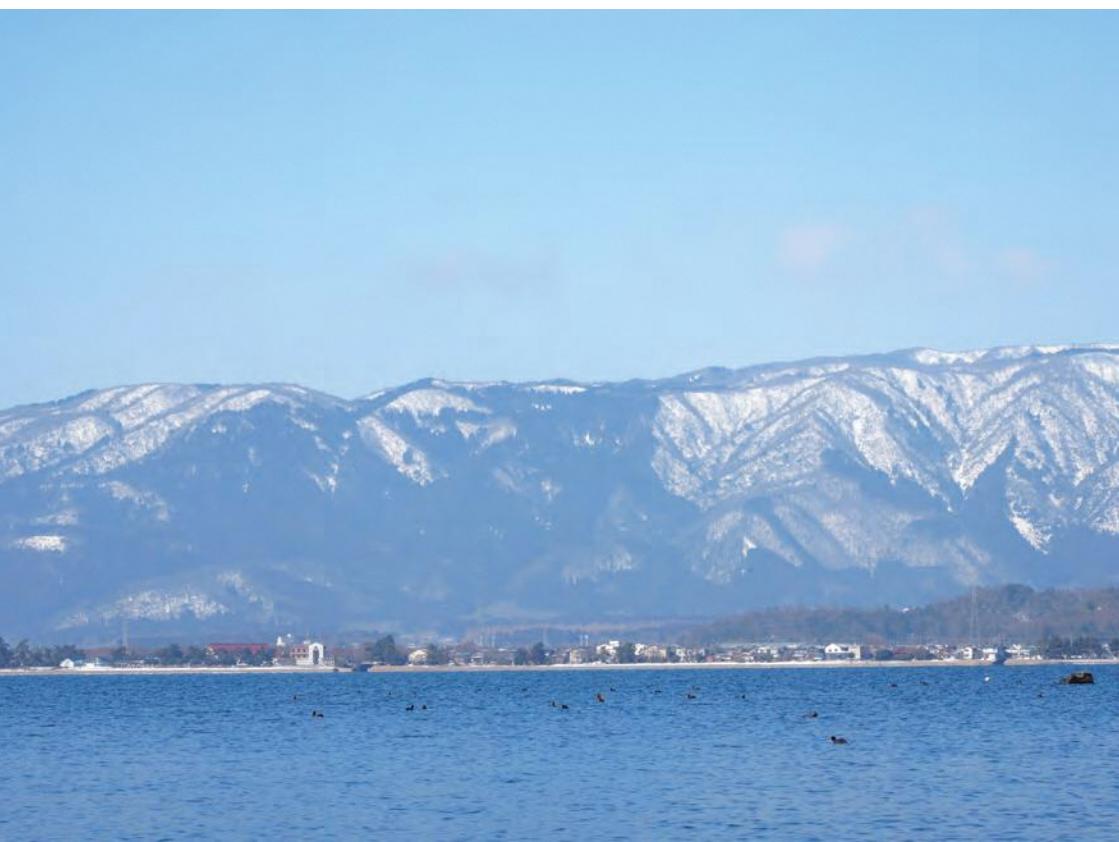


高島で暮らそう。 Handbook





びわ湖の“水のふるさと”

高島市は滋賀県の北西部、近畿地方の北部にあり、近畿、中京、北陸3圏の結節点に位置します。東は琵琶湖に、南西は比良山地を境に大津市および京都府に、北西は福井県に接しています。

冬は山間部では雪も多いですが、それらは緑豊かな森林を育むとともに、「母なる湖」琵琶湖へ注ぐ水の約3分の1を生みだしています。また、秋には「高島しぐれ」と呼ばれる天気雨がしばしばあり、たくさんの虹を見ることができます。

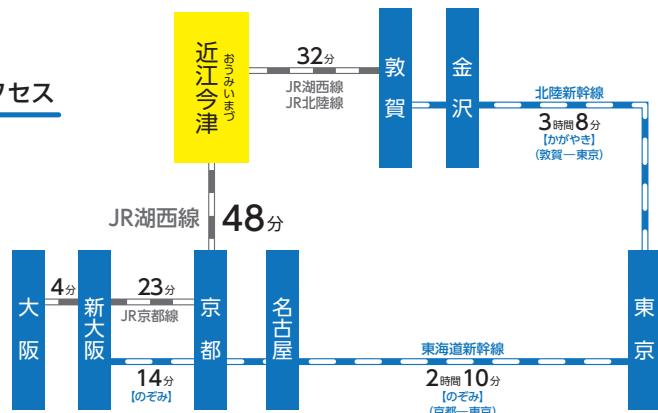
都市から近い“ほどよい田舎”

車で京都まで約1時間、大阪まで約2時間。

JR(新快速)で京都駅まで48分、大阪駅まで75分。

京阪神へのアクセスに便利でありながら、琵琶湖と山々が広がり里山に集落が点在する“ほどよい田舎”です。市街地ではほどほどの田舎暮らしが楽しめる一方、奥深い山の中では古民家を改修したり田畠を耕したり、自給的な暮らしをすることもできます。

鉄道でのアクセス



移住のために…

高島暮らしの相談窓口

高島の人と交流ができるイベントに参加しよう！(コレカラサロン)



コレカラ ヴォーリズ資料館

高島に来て、いろんな人と出会おう

まずは高島市に遊びに来てください。来られた際には、**地域の人や移住した人に出会い、高島の良さや暮らしについて聞いてみること**をオススメします。高島市では、地域の人や移住をされた先輩の方々と出会い、お話を聞ける移住交流会（コレカラサロン）を年に数回開催していますので、是非、ご参加ください。

移住相談にお越しください

「移住したい！」という気持ちになられたら、下記の定住相談窓口へお問い合わせください。初めて高島に来られる方には、地域の概要を説明し、**希望される地域をご案内**します。また、**移住された方の話を聞けるようにコーディネート**もしています。

移住相談では、専門の相談員である移住・定住コンシェルジュが移住に関する様々なご相談に丁寧に対応します。

市内の協力事業者（宅地建物取引業者）と一緒に、空き家や集合住宅など、**住まいの紹介**もしています。

市外でも高島市の情報を入手！「出張相談会」

年に数回、大阪や東京など都市圏で開催される移住イベントへ「出張相談会」として出展し、移住・定住コンシェルジュが移住に関するご相談をお受けしています。

もちろん、高島市に来ていただき現地の雰囲気を感じていただくことが一番ですが、「なかなか相談に行く時間がとれない…。」、「距離的に頻繁に行くことが難しい…。」とお考えの方もいらっしゃるかと思います。

そんな時は、ぜひ市外の移住イベントに、お気軽にお越しください。高島市の魅力をお伝えします！

移住イベントへの出展情報は、「高島で暮らそう。」ホームページで随時アップしています。

最新情報は、こちらをご確認ください。

<https://move-takashima.jp/>



「高島で暮らそう。」ホームページ



大阪イベント



東京イベント

定住相談窓口（高島市役所 市民協働課 定住推進室 滋賀県高島市新旭町北畑 565）

電話 **0740-25-8526**

メール **info@move-takashima.jp**

<https://move-takashima.jp/>

Facebook **@takashimadekurasou**

子育てをする

妊娠・出産

▶ 新たないのちの誕生を応援

安全な出産、子育てができるように、妊婦や産婦の健康診査費用の助成や不育症等に悩む方の治療費の一部を助成しています。また、妊婦のための給付金として、母子手帳交付時と出産後に、それぞれ5万円を給付しています。(健康推進課)



子育て

▶ こんなには赤ちゃん訪問事業

おおむね生後3か月までの乳幼児家庭を主任児童委員が訪問し、保護者の不安やお悩みをお聞きするなど、育児支援を行っています。(子育て政策課)



子育てに役立つ情報を掲載
高島市子育て応援サイト

▶ おむつおとどけ みまもり便

1歳未満の乳児を養育する世帯を対象に、子育て中の方の経済的な負担の軽減や育児不安の解消を目的として、おむつ等の育児用品を定期的に配達し、宅配員(たかPメイト)による子育ての悩み相談や情報提供を行います。(子育て政策課)

▶ ブックスタート事業

親子で絵本を楽しむ時間を過ごしませんか?ブックスタートの説明と絵本の読み聞かせを行った後、絵本を1冊お渡しして、おうちでも楽しめるようにしています。(図書館)

▶ 子育て支援センター・つどいの広場・子育て支援室

乳幼児(未就園児)の遊びの場で、子育ての相談、交流の場です。市内の認定こども園、児童館などに併設されています。(子育て政策課)

イチオシ!

▶ 市内の認定こども園等に通う子どもの保育料が完全無償!

高島市では、0~2歳児の子どものうち、国の「幼児教育・保育の無償化」の対象とならない子どもの保育料も無償化します。認定こども園等に在園する子どもの保育料の負担はありません。

※延長保育料、行事費等は、保護者負担となります。(幼児保育課 TEL: 0740-25-8037)

▶ 18歳までの医療費が完全無償!

18歳までの子どもの通院、入院にかかる医療費(保険診療分)の自己負担分が全額無償です。
(保険年金課 TEL: 0740-25-8137)

▶ 学校給食費が完全無償!

市内小中学校に在籍する児童生徒の給食にかかる費用が無償です。また、市内在住で市外の学校に在籍するなど、給食費完全無償化の対象にならない場合、一部補助金を交付します。
(学校給食課 TEL: 0740-32-1716)

▶ 学童保育所(放課後児童クラブ)

放課後や長期休み中の留守家庭に、適切な遊びや生活の場を提供しています。
(子育て政策課)



市内学童一覧

▶ 病児保育室 おひさま

病気のお子さん(生後6か月~小3)をお家で看ることができない場合、高島市民病院内の病児保育室で保育します。(子育て政策課)

利用時間: 月~金 8:00 ~ 18:30

利用料: 1日1人 2,000円(市外在住者 4,000円)

〒520-1121 高島市勝野1667

高島市民病院 健診棟1階

TEL: 080-5706-9555



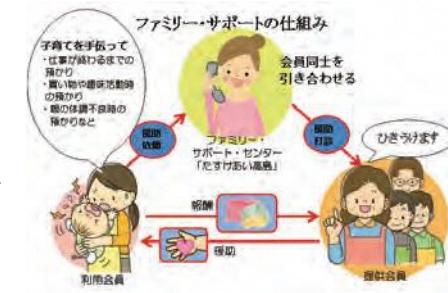
▶ ファミリー・サポート・センター たすけあい高島

子育て中の方が仕事と育児を両立し、安心して子育てができるよう、お子さんの預かりなど会員同士で助け合います。詳細は下記までお問合せください。(子育て政策課)

〒520-1501 高島市新旭町旭1-8-5

NPO法人 元気な仲間(エスパ内)

TEL: 0740-33-7805 Mail: tasukeai@npogenki.com



▶ 図書館(室)

市内にはマキノ図書館・今津図書館・新旭図書室・朽木図書サロン・安曇川図書館・高島図書室の6つの図書館(室)があり、おはなし会等、ご家族で楽しんでいただける行事を開催しています。

HP: <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/takashima/>



認定こども園等

[私立幼保連携型認定こども園]



なないろこども園



愛隣こども園



中央ユニバーサルこども園



藤波こども園



安曇川はこぶね保育園



しおじ保育園

[公立保育所型認定こども園]

マキノ東こども園/マキノ西こども園
朽木こども園/高島こども園
大師山さくら園/静里なのはな園

[公立小規模保育事業所]

今津東保育園/古賀保育園

[私立幼稚園]

今津幼稚園

[私立小規模保育事業所]

はこぶね保育園ひかりの

[私立家庭的保育事業所]

家庭的保育園Peek-a-boo
家庭的保育園Peek-a-boo新旭

住まいを見つける・つくる

住まい探し

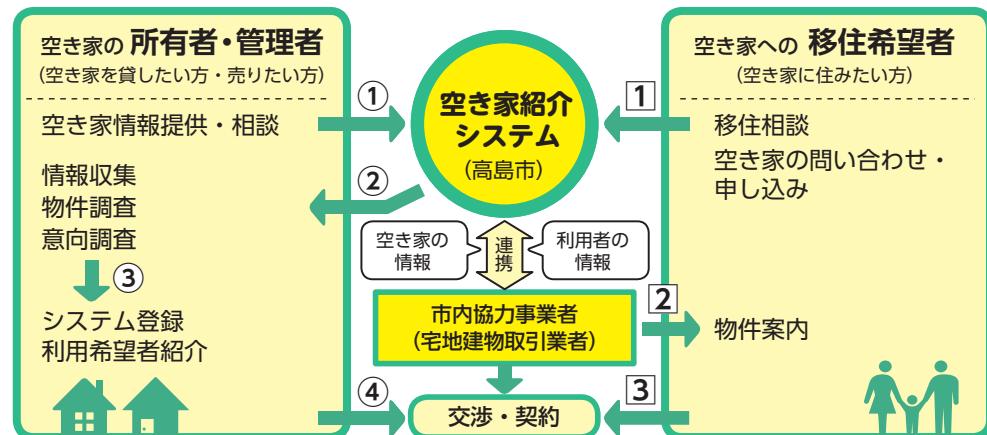
▶ 住まい探しのポイント

高島市は広く、地域によって住環境が異なります。季節ごとに訪れて、気候風土や景色、積雪量などをみて、地域の人にも話を聞いてみてください。駅やスーパー、病院、学校なども自分の目で確かめ、思い描く暮らしができるか、具体的に想像しましょう。

空き家の賃貸や購入を考えられている場合、場所や広さ、価格など、優先順位を決めて不動産会社に伝えると、情報も得やすいと思います。「理想的な住まい」を実現されている移住者の方は、高島に住んで地域に馴染みながら住まいを探し、理想の物件を購入し、リフォーム（セルフビルト含む）されている方も多いです。理想の暮らしはゆっくり実現していく心構えが必要です。

定住推進室では、市内の協力事業者（宅地建物取引業者）と一緒に、空き家や集合住宅など、住まいの紹介もしています。

空き家紹介システムのしくみ（利用方法）



高島市空き家紹介システムの協力事業者（宅地建物取引業者）

有限会社 桜住建
株式会社 梅久
株式会社 北條
くつき健不動産

有限会社 湖西住研
株式会社 BELIEF
株式会社 エム・ジェイホーム
株式会社 湖西住建

株式会社 澤村
弘徳興業株式会社
ほうき不動産

リフォーム・引っ越しのための補助制度

それぞれ補助要件があります。申請をお考えの方は、必ず着手される前に担当課にご相談ください。

高島市結婚新生活支援事業

子育て政策課 TEL:0740-25-8136

新たに結婚をされ、高島市で新生活を始められる方を対象に、その費用の一部を助成します。

【対象となる人】夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得500万円未満の新規に婚姻した世帯（対象世帯については、他にも条件があります。）

【対象となる経費】婚姻に伴う転入または転居で生じた次の経費

- ・新たに物件を取得した場合の経費
- ・新規の住宅賃借経費（賃料・敷金・礼金・共益費・仲介手数料ほか）
ただし、会社から住宅手当が支給される場合などはそれを除きます
- ・引越費用（引越業者または運送業者へ支払った実費）
- ・婚姻に伴う住宅のリフォーム費用

【補助上限額】29歳以下の世帯：60万円 39歳以下の世帯：30万円

※詳しくは、子育て政策課までお問合せください。

定住住宅リフォーム補助

市民協働課 TEL:0740-25-8526

【対象となる人】次の①②③のいずれかに該当する方

①高島市へ移住・Uターンしようとする方または転入後3年を経過しない方

②市内の賃貸住宅などにお住まいで、40歳未満の方または小学校6年生までの子どもを扶養し同居する方

③市内の実家にお住まいで、婚姻後3年を経過しない方または1年以内に婚姻を予定している方で、40歳未満の方または小学校6年生までの子どもを扶養し同居する方

【対象となる住宅】次のA Bのいずれかに該当する住宅

A 定住するために購入した中古住宅（②の場合は空き家紹介システムの物件に限る）

B 相続・贈与により取得する実家

【対象となる事業】市内業者が請け負う50万円以上のリフォーム工事

【補助金の額など】補助率は最高1/4、総額は最高50万円、地域通貨「アイカ」で5年間分割均等払い

※年齢等の要件によって補助率が変わります。※着工前に申請が必要です。

※詳しくは、市民協働課までお問合せください。

市内産材活用促進事業補助金

森林水産課 TEL:0740-25-8512

【対象となる人】建築主

【対象となる事業】市内業者が請け負う住宅等の新築、増改築および改装工事（市内産材を1m³以上使用すること）

【補助金の額など】住宅類で市内産材1m³あたり2万円、限度額30m³まで60万円

※建物の用途などにより、補助単価が変わります。（森林認証材を使用した場合は補助単価が上がります。）

※着工前に申請が必要です。

※詳しくは、森林水産課までお問合せください。

市内の住宅を居住用住宅として購入・増改築等する場合、「高島市移住定住応援住宅ローン」として関西みらい銀行の借入金利がローン基準金利から年1.95%引き下げられます。詳しくは、お近くの関西みらい銀行までお問合せください。

「定住住宅リフォーム補助」を利用して市内の住宅を取得する場合、住宅ローン【フラット35】の借入金利が当初5年間、年0.5%または年0.25%引き下げられます。詳しくは、市民協働課（0740-25-8526）までお問合せください。

その他に太陽熱温水器設置事業補助金、住宅用太陽光発電システム設置補助金があります。
詳しくは、環境政策課（0740-25-8123）までお問合せください。



高島市
ホームページ

仕事を見つける・つくる

仕事探し

▶ 高島市若者定住職業相談コーナー

定住推進室では、厚生労働省地方公共団体無料職業紹介事業の届出を行い、ハローワーク求人情報オンライン提供サービスを利用し、求人情報の紹介をしています。

ハローワークの求人情報はもちろん、企業からお聞きした業務内容や人材ニーズなどをもとに、あなたに合ったお仕事を紹介します。「しごと」に関するお悩みは何でもご相談ください。

(定住推進室 TEL: 0740-25-8526)

▶ ハローワーク高島 (大津公共職業安定所高島出張所)

利用時間：月～金曜日 8:30～17:15

休日：土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)

アクセス：安曇川駅より徒歩約3分、駐車場あり

〒520-1214 高島市安曇川町末広4-37

TEL: 0740-32-0047 FAX: 0740-32-3419



▶ 高島地域雇用創造協議会

高島地域雇用創造協議会では、魅力ある雇用を創出するため、求職者のスキルアップのための「人材育成セミナー」、企業などの経営力アップのための「魅力向上・事業拡大セミナー」を開催するほか、若年層に市内の企業を周知するために、「高島市企業ガイドブック」を作成しています。

〒520-1501 高島市新旭町旭1丁目10-1

高島市観光物産プラザ2F

TEL: 0740-25-5731 FAX: 0740-25-5732

HP: <https://takashima-shigoto.jp>

Mail: info@takashima-shigoto.jp



▶ 高島市の就職支援

高島市では市内企業と求職者のマッチングの場として、合同就職面接会を毎年開催しています。開催時期や出展企業などの詳細はそれでお問い合わせください。

- ・「若年層向けの企業面接会」
- ・「合同就職面接会」
(高島地域雇用創造協議会 TEL: 0740-25-5731)
- ・「介護と福祉の就職フェア」
(高齢者支援課 TEL: 0740-25-8150)



市内の高校生が、市内で様々な仕事をしている方を紹介する情報誌「Life runneR in Takashima ~10人の物語~」を配付しています。ご希望の方は市民協働課 (TEL: 0740-25-8526) まで。

就農に関する支援制度

▶ 新たに農業を始めるため 研修期間中の生活費を確保したい

就農準備資金(研修期間中)

都道府県等が認めた農業大学校等の研修機関や、先進農家・先進農業法人等で研修を受ける場合、就農予定時の年齢が原則50歳未満である方に、最長2年間、年間150万円を交付します。

※資金の受給には諸要件があります。

(農林水産省 新規就農者育成総合対策)



▶ 新たに農業を始めたいが、 就農直後から所得を確保したい

経営開始資金(独立・自営就農後)

青年等就農計画の認定を受けた年齢が50歳未満の独立・自営就農する認定新規就農者に農業を始めてから経営が安定するまで最長3年間、年間最大150万円を交付します。

※資金の受給には諸要件があります。

(農林水産省 新規就農者育成総合対策)



詳しくは、農業政策課 TEL: 0740-25-8511 までお問い合わせください。

高島市ホームページ

介護職として働く方の支援制度



高島市では、介護職として働く方を応援する助成制度を行っています。

【対象となる人】 市内の介護サービス事業所等に正規雇用職員として3ヵ月以上勤務する介護職員等で、翌年度も同様の雇用形態で働く方



- 【助成内容】
- 子育て応援助成事業
学童保育基本利用料の2分の1（月額上限6千円）
 - 家賃助成事業
勤務先の住居手当を差し引いた借家の家賃額の2分の1（月額上限2万円・助成期間2年）
 - 奨学金返還助成事業
高校・大学・専門学校等在学時に受けた奨学金の返還月額の2分の1（月額上限5千円・助成期間5年）



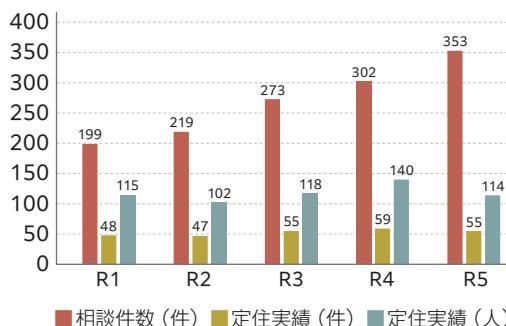
その他にも、介護職員の新規採用や資格取得、外国人材の雇用促進のため、法人への助成も行っています。詳しくは高齢者支援課 TEL:0740-25-8150へお問合せください。

チチ情報

高島市に移住する人はどれくらいいるの？？

定住相談窓口を通した移住相談は年間約300件あり、毎年40～60件、80～140人が高島市へ移住しています。

年々、移住を検討される方が増えてきており、多くの先輩移住者さんがいます。実際に移住された方の体験談などのお話しを聞くことも移住の大きな一歩です。



暮らしを豊かにする

地域のつながり、防災

▶ 集落での助け合い

高島市は平成17年に5町1村（マキノ町、今津町、朽木村、安曇川町、高島町、新旭町）が合併し、令和7年に市制20周年を迎えました。

約200の区、自治会があり、それぞれ区費などの負担金で運営しています。清掃作業や防災訓練など、助け合いながら地域づくりをしています。定住推進室では、移住前に区長・自治会長との顔合わせや面談の調整もしています。



集落の集まりの様子



防災行政無線



防災ハザードマップ

▶ すべての家庭に防災行政無線とハザードマップ

風水害時の避難などの防災情報や、市役所からのお知らせを自宅で聞くことができる戸別受信機を、1世帯に1台貸与しています。また、自宅周辺の災害リスクを知り、防災対策を考えいただけるよう防災ハザードマップを配布しています。(防災課)

ふだんのくらしのしあわせ

▶ 安心して暮らせる地域づくり

高齢になっても、障がいがあっても、子どもから高齢者まで、誰もがいつまでも安心して暮らせる福祉のまちを目指しています。

みんなが集まる場づくり、防災や減災、ボランティア活動など、地域におけるさまざまな福祉活動を支援しています。
(高島市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL:0740-25-5730)



▶ 福祉や暮らしに関わる相談、サポートなど

生活困窮や成年後見制度に関する相談窓口として、福祉や医療、法律の専門職とともに総合的な支援をしています。(高島市社会福祉協議会 相談支援課 TEL:0740-25-5720)

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

〒520-1521 高島市新旭町北畠 45番地1

高島市こども若者応援ベース「みらくる」内

HP: <http://takashima-shakyo.or.jp> Mail: inquiry@takashima-shakyo.or.jp

歴史・文化と暮らす

代表的な先人

江戸時代初期の儒学者で、「日本陽明学の祖」といわれる中江藤樹は、高島市の代表的な先人です。後に、「藤樹書院」と名付けられた居宅兼私塾で、身分にかかわらずすべての人を対象に「良知心学」をおしえました。居宅に生えていた「ふじ」の木にちなみ、「藤樹先生」と呼ばれ、親しまれています。

高島市には、中江藤樹にまつわる関係地がたくさんあります。市民の誇りと高島の歴史を学んでみてはいかがですか？



史跡藤樹書院跡

水のふるさと

高島は琵琶湖の水の3分の1を生み出す水源の郷です。陸地の72%が森林で、森に降るたくさんの雨や雪は土壌に浸透し、時間をかけてろ過され、川となって琵琶湖に注ぎます。

山里にはいくつもの湧水があり、日常的に使われています。

新旭町針江地区の「川端（かばた）」に代表されるように、清らかな伏流水を家々で使い、水路や琵琶湖に流す暮らしが営まれてきました。

マキノ町海津・西浜・知内地区では、湖岸の石積みや共同井戸、知内川で続けられている伝統的なヤナ漁が現存しています。

大溝城跡がある大溝地区では、旧城下地区を流れる「町割り水路」が残っています。

自然と人々の共生が生み出した暮らしの風景は、「重要な文化的景観」として全国的に注目を集めています。



針江のかばた



海津・西浜・知内の石積み



大溝の町割り水路

高島市内の湧水

- ・「生水（しょうず）」 新旭町針江、霜降
- ・「玉水」 新旭町岡
- ・「秋葉の水」 安曇川町中野
- ・「アカヤの水」 マキノ町上開田



豊かな自然の中でスポーツを

スポーツ

▶ アウトドアスポーツで自然を満喫する

高島市では自然環境を活かし、SUP（サップ）、ローリング、スキー、スノーボード、トレッキング、トレイルランニング、ウォーキングなど、様々なイベントが盛んに行われています。

また、野球場、グラウンド、テニスコート、温水プール、屋内グラウンドなどのスポーツ施設が充実しており、ハイシーズンは市外からの合宿などで賑わっています。

高島市では、「いつでも健康で長生きできるまち」として、スポーツ健康まちづくりを進めています。豊かな自然と充実した施設でスポーツを楽しむライフスタイルを始めてみませんか。



しが・めぐりあいサポートセンター「しが結」

滋賀県が開設した、独身者の出会いと結婚をサポートするオンライン上の結婚支援センターです。当センターでは、AIを活用したマッチングシステムを導入し、出会いのサポートを行っています。

令和7年1月末現在、43組のカップルが結婚の意思を固め、退会されており、退会された方々からは、「滋賀県が運営しているので安心感をもって活動できた。」、「AIの紹介で素敵な方と出会うことができました。」などのお声をいただいております。

県内各地で婚活イベントも開催しておりますので、ご興味のある方は、ホームページをご覧ください。



お問い合わせ

TEL : 050-1791-5830

受付時間：11時～19時

休所日：火・水・年末年始（※火・水が祝日の場合は、営業日となります。

また、祝日の翌日を休所といたします。）

E-mail : s-info@shiga-yui.jp



わたし流 たかしまのくらし ➔

しがIJU相談センター（ふるさと回帰支援センター内）

全国から高島市への移住を検討されている方は、ふるさと回帰支援センター内に移住に関するワンストップ窓口「しがIJU相談センター」が開設されていますので、お気軽にお立ち寄りください。

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1（東京交通会館8階）
Mail : shiga@furusatokaiki.net
直通TEL : 090-2730-4793（代表TEL : 03-6273-4401）
営業時間：10時～18時（休日：月曜日、火曜日、祝日）



＼令和6年4月から新たに大阪に、滋賀県の移住相談窓口を開設！／

滋賀ぐらし情報センター（大阪ふるさと暮らし情報センター内）

近畿圏在住の移住検討者の方向けのより身近な相談窓口として、きめ細やかな相談対応を行ってまいります。お気軽にご相談ください。

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-31
シティプラザ大阪1F 大阪ふるさと暮らし情報センター内
TEL : 06-4790-3000 Mail : shiga@osaka-furusato.com
営業時間：毎週水曜日 10時～18時
※水曜日以外をご希望の場合は、お問い合わせください。
(対応可能日：火曜日～土曜日の10時～18時（日、月、祝を除く))



滋賀の情報を首都圏で発信！東京日本橋「ここ滋賀」

滋賀の魅力を様々な角度からお伝えするイベントや、特産品・伝統工芸品などの販売、各蔵元の地酒が味わえる地酒バー、近江牛をはじめとした滋賀の食材をふんだんに使ったレストランなど、滋賀を全身で体感していただける場をご用意しています。令和6年10月29日に7周年を迎えた「ここ滋賀」に、是非お立ち寄りください。

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1
JR 東京駅：八重洲北口 徒歩6分／東京メトロ・都営地下鉄 日本橋駅：B6、B8 出口すぐ
1F 共通：TEL : 03-6281-9871 / FAX : 03-6281-9877
2F レストラン：TEL : 03-6281-9872 HP : <https://cocoshiga.jp/>



「移住で知った四季の素晴らしさ」

松尾さん ご家族

私たちはアウトドアが好きで、高島市は自然豊かで住んで楽しい場所だと思い、家族3人で大阪から1年前に移住しました。

移住して驚いたことは四季の素晴らしさです。今まで、いろいろな所に行きましたが、こんなにも四季を身近に楽しめる場所は初めてでした。春には海津大崎の桜、夏には田んぼ脇の用水路で蛍狩り、秋にはメタセコイア並木の紅葉、冬には雪など、これらの景色全てが、家から車で20分ほどの場所で楽しめることが驚きました。

今後は一軒家を購入し、庭でバーベキューをしたり、ガーデニングを楽しんだりと家族で楽しみながら暮らしていきたいと思っています。



「おためし暮らしが移住の決断に」

野澤さん ご家族

この夏に、夫婦・3人の子どもと東京から移住してきました。きっかけは、約8年前に友人を訪ねて初めて高島に来たことで、琵琶湖に魅せられ、何度も足を運んでいました。

「高島で暮らせたら素敵だな」と想像していましたが、「おためし暮らし」という市の取り組みを利用し、夏の1か月間を暮らしたことが移住の決め手となりました。

おためし暮らしを通して知り合いができ、暮らすイメージが付いて、不安も解消され、具体的な移住へと動いていきました。

いろいろな方とつながりができ、子どもたちとのびのび過ごしています。子どもの育ちを地域の方に見守られながら暮らすことについて、幸せを感じている日々です。





高島縁人

観光でもなく、移住でもない、その人ならではの愉しみ方で高島市とつながってくださる方々、高島と縁のある人=高島縁人（たかしまえんじん）と呼んでいます。HPで高島市とつながることのできる様々な活動を紹介しています。

<http://www.takashima-engine.com/>



SMOUT

SMOUT

「SMOUT」は、地域に行きたい人と地域の人をマッチングする移住スカウトサービスです。地域や掲載プロジェクトに興味がある人に直接スカウトしてメッセージを送ることができます。高島市は「SMOUT」にも、移住のさまざまな情報を掲載しています。こちらもぜひご確認ください。



高島縁人公式 LINE アカウントについて

高島縁人では公式LINEアカウントを運営し、お友達登録いただいた方に高島市のイベント情報などを発信しています。LINE内のメニューから、観光・移住・イベント・ふるさと納税などの情報をいつでも簡単にご確認いただけます。高島にゆかりのある方、イベント情報や観光情報を定期的に確認したい方、高島ファンになっていただける方は、ぜひ右記のQRコードから公式LINEの【お友達登録】をお願いいたします。



豊かな「恵み」を、おそそわけ。

滋賀県高島市は、琵琶湖に注ぐ水の約3分の1を生み出すまち。 言うなれば、近畿に住む約1,400万人にとっても大切なまち。 その高島市の暮らしと水源地を守る仕組み、ふるさと納税。 そのお礼は、高島市が誇る豊かな「恵み」です。



高島屋、ゆかりの地。
滋賀県 高島市

TAKASHIMAP

高島の 魅力発見！

**京阪神から近くて
一年中楽しめる**

琵琶湖と比良山地、野坂山地に抱かれた高島市は夏の水泳、冬のスキーをはじめ、キャンプ、山歩きなど、年中アウトドアが楽しめるところ。市内には、メタセコイア木や海津大崎の桜、畑の棚田を始めとした「日本の百選」が10カ所以上もあります。魅力が余すことなく詰まつた名所、それが高島なんです。

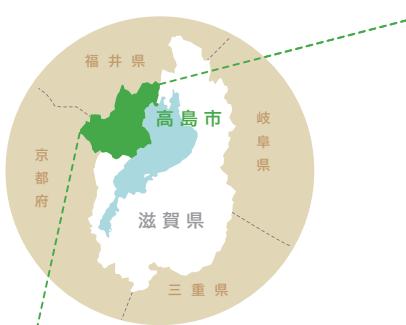
アクセスは車なら名神高速道路京都東IC経由、電車ならJR湖西線新快速を利用して、いずれも京都から1時間程度で訪れることができます。



パンフレット



動画でCHECK！



琵琶湖と比良山地、野坂山地に抱かれた高島市は夏の水泳、冬のスキーをはじめ、キャンプ、山歩きなど、年中アウトドアが楽しめるところ。市内には、メタセコイア木や海津大崎の桜、畑の棚田を始めとした「日本の百選」が10カ所以上もあります。魅力が余すことなく詰まつた名所、それが高島なんです。



くつき新本陣

日曜朝市が人気。野菜や手作り惣菜、鮒寿司、柄もちなど、朽木の特産がところ狭しと並びます。



表紙・裏表紙／近江さんご家族

昨年、ご家族4人で横浜市から移住された近江さん。

子どもたちと一緒に、高島市の豊かな自然に囲まれた生活を満喫されています。



それを宝探しみたいに見つけながら生活することに、楽しさを感じています。

身近な自然に感動しながら生活する今日この頃です。

大抵のことは、スマホでピピッと検索すると分かるのですが、高島市には、スマホでは分からぬこともあります。

メダカが住んでいる場所、いつどこでフナやナマズが遡上してくるのか?など。

近所の方たちに聞かないと分からない、楽しい情報がたくさん眠っています。

高島で暮らそう。Handbook

2025年3月発行

高島市役所 市民生活部 市民協働課 定住推進室
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畠 565
tel: 0740-25-8526 fax: 0740-25-8156
mail: kyoudou@city.takashima.lg.jp

